

令和4年度 第6回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2022.09.27 (火) 18:30-19:10

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高橋（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 奥田
加藤 酒井 須田 手束 寺井 中西 西田
町野（書記） 宮腰 村上 湯川（敬称略）

アドバイザー： 川口（敬称略）

欠席委員： 大谷（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2022年8月）：高橋先生

理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 来年の JSSR 学術総会で学会主導研究の発表セッションが設けられる予定。
2. 当委員会から学会主導研究として、プリオン病感染予防についてのアンケート調査と JSSR-DB を用いた脊椎脊髄手術の周術期合併症調査を発表する予定。
3. 世界情勢から内視鏡の付属品が納入できない状況となっており、付属品を再使用することについて、業者と JSSR 学会は再使用しない方針である。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. アンケート調査結果について、10/5 開催の JOA 委員会で報告する。調査内容については来年の JOA 学術総会シンポジウムで発表する予定（担当酒井先生）。

2. 検討・報告事項

（ア）脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：酒井先生、手束先生

手束先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 研究内容を英語論文に纏めたため、当委員会委員にて内容確認を行った。
2. 英文校正後に SSRR へ投稿する予定。

（イ）脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生から研究報告について下記確認がされた。

1. 当委員会委員にて論文内容を確認し、JSR へ論文投稿し現在査読中である。
2. 今年の日本文具インストゥルメンテーション学会で研究内容を発表する予定。

(ウ) プリオン病感染予防についてのアンケート調査：酒井先生、町野先生

町野先生から研究報告について下記確認がされた。

1. アンケート調査内容を当委員会委員にて確認した。
2. 委員からプリオン対策の洗浄・滅菌にかかるコスト、医源性プリオン病の発生状況についての報告、アンケート調査の回答率についてご意見があった。
3. 調査内容を抄録に纏め、今後当委員会委員にてその内容の確認を行う。来年の JSSR 学術総会における学会主導研究セッション（担当町野先生）で発表する予定。
4. JSSR-DB を用いた脊椎脊髄手術の周術期合併症調査について、町野先生が JSSR 抄録登録予定。

3. 次回委員会開催日

- ・ JSSR 理事会開催後に予定
- ・【次回】 2022.11.29（火） 18 時 30 分～（仮：検討議案があった場合に開催）
開催については開催日の 2 週間前を目途に決定する。
- ・【次々回】 2023.1.31（火） 18 時 30 分～